

令和4年度第2回大府市犯罪のないまちづくり推進会議 議事録

開催日時	令和4年12月20日(火) 午前10時00分～午前10時45分
開催場所	大府市役所 5階 全員協議会室
出席委員	会長：岡村秀人：大府市長 委員：中山知乃：東海警察署生活安全課長、森下明雄：東海警察署大府幹部交番所長、伴浩人：大府市小中学校校長会代表、大島奈津美：大府市小中学校PTA連絡協議会代表、鎌田康子：大府市老人クラブ連合会代表、鈴木菊代：大府少年補導委員代表、新名秀昭：東海大府事業所防犯協会大府支部代表、深谷多恵子：大府商工会議所代表、山内とよ子：大府市地域婦人団体連絡協議会代表、荻野裕子：公募委員
欠席委員	田中賢：日本大学教授、竹内清道：大規模小売店代表、杉浦文男：自主防犯ボランティア代表、市野みさと：学生代表
事務局	信田光隆：市民協働部長、近藤真一：危機管理課長、近藤宏幸：危機管理課生活安全係長、吉村隆汰：危機管理課生活安全係主任、津坂拓男：危機管理課生活安全係地域安全専門員
傍聴人	なし
次 第	1 会長あいさつ 2 議 題 第4次大府市犯罪のないまちづくり基本計画(案)について 3 報告事項 大府市の犯罪発生状況について 東海警察署生活安全課 中山 知乃 課長

## 1 会長あいさつ

年末のお忙しい中、そして非常に寒い中、会議に出席いただき感謝する。

このように皆さんと対面で会議を開催する形式は2年10か月ぶり、これまで書面により御審議していただくことが度々あったが、ようやく開催することができた。

市内の犯罪発生状況は、社会の経済活動が活発化してきた影響により、犯罪も減少傾向から増加傾向に変化してきている。引き続き、本市では1件でも犯罪を少なくするために、皆さんの力を借りながら防犯活動を展開していきたいと考えている。

本日の議題は、第4次大府市犯罪のないまちづくり基本計画について、パブリックコメントで市民の方からの御意見を取り入れて作成した計画案を提示させていただくため、委員の皆さんのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

## 2 議 題

第4次大府市犯罪のないまちづくり基本計画(案)について

事務局より、概要を説明。

(委員) 自転車盗について、具体的にどのような状況で発生しているか知りたい。自分の子どもも盗まれたことがあるが、警察に届け出しても自転車は返ってこない。なのでどのように対策をすれば良いか疑問に思っている。

(事務局) 自転車盗は無施錠の被害が多い。本市では自転車盗対策として、駅の駐輪場

等で、自転車のワイヤーロックを啓発品として配布し、自転車についている鍵ともう1つ鍵をするツーロックを呼びかける啓発活動を実施している。

(委員) 盗まれる自転車のうち、4台中3台(約75%)が無施錠という統計が出ている。盗まれている年代は、中高生から社会人が非常に多く、場所は駅や店舗などの駐輪場が多い。犯人の動機としては、駅からの移動手段が徒歩となるため、自転車を盗んで移動することである。駅の駐輪場には必ず無施錠の自転車があるため、駅を利用する時に駐輪場を確認してみたい。鍵かけをうっかり忘れる人もいれば、日常的に無施錠の人もある。自転車を利用する人には、少しでも鍵をかける意識を高めてもらうことで、被害が1件でも減らしていけると思っている。

(委員) 防犯カメラレンタル事業の自主防犯団体とは、どのような団体のことか。

(事務局) 自治区等の防犯パトロール隊のことである。

(委員) 店舗等も申込すれば、受けることができるか。

(事務局) 自治区において、地域の防犯カメラの設置場所等を取りまとめているため、レンタル事業においても、設置を希望する場所を自治区等に相談していただき、設置場所を検討していただきたいと考えている。

(委員) 19ページの管理の行き届いた街並み推進において、犯罪者が潜伏しやすい場所として空き家も当てはまると思うが、空き家への考え方について伺いたい。

(事務局) 空き家対策については、事業計画の中で推進できるよう検討していきたい。

(会長) 空き家対策は、別組織で空き家対策の協議会があり、協議会の中で空き家解消のための計画を作っている。御意見いただいたように、犯罪の芽ともなり、他にも地震による倒壊の危険性や、ゴミが不法投棄されやすい等の問題もある。基本的には土地の所有者において適切に管理していただくこととなっているが、最終手段では、市が代執行し、壊すことも計画的に進めている。

(事務局) 17ページに記載している内容だが、今年度から警察官OBで勤務している地域安全推進員の増員をしており、地域防犯力が向上するよう、地域や警察から不審者情報が入り次第、青パト隊と連携し、該当地域等においてパトロールを強化し、見せる力で防犯力を上げていく取組をしている。

### 3 報告事項

大府市の犯罪発生状況について

東海警察署生活安全課 中山 知乃 課長

大府市の犯罪発生状況は、11月末時点において、刑法犯認知件数が328件で、前年対比+59件となっている。愛知県全体で見ても、昨年は、戦後に統計を取り始めてから最も犯罪が少ない年であったが、大府市と同様に増加傾向となっている。

今年の4月頃までは、若干の減少傾向であったが、行動制限が緩和されてから、外に出歩くことが増えたことで、自転車が盗まれたり、不在中の自宅や会社が泥棒に狙われたりすることが増え、犯罪の発生は増加傾向となっている。2ページに記載されている犯罪率について、11月末時点では、3.55人で69市区町村中14番目となっており、順位的には良いと感じるかもしれないが、令和3年の3.17人と比較すると若干増加しているため、犯罪の発生が増加している意識を持っていただきたい。

増加している犯罪は、自動車関連窃盗で、自動車盗は昨年11月末時点で4台であったが、今年は既に10台盗まれており、車上狙いについても、昨年は5件であったが、今年は22件に増加している。全国的に自動車盗が多発しているが、愛知県は全

国ワースト1位であり、県内で800台以上盗まれている。車種はレクサスLX、ランドクルーザー、プリウスが多い。レクサスLX、ランドクルーザーは海外での高額転売、プリウスは高級なレアメタルが使われている理由で狙われている。

また、年末にかけて、県下的に住宅対象侵入盗が非常に増加してくる。年末年始は不在となる家が多いため、泥棒の活動も増えてくる状況となるが、泥棒は行き当たりばったりで大府市を狙っているのではなく、事前に十分に情報収集し、狙いを定めて犯罪を行っている。会社の社長の家や、立派な家等、沢山現金が置いてありそうな家が特に狙われている。今時の泥棒はGoogleマップで下見をするという情報もあり、その街の雰囲気や、どのような経路で侵入し、逃走するか等しっかりと調査しているため、少しでも犯罪をしづらい地域とするために、防犯力を高めていただけたらと思う。

愛知県警が作っている「アイチポリス」というアプリがあり、お住まいの地域を登録すると、その地域の犯罪情勢や、「パトネットあいち」で流した情報を入手できるほか、万が一のために使える防犯ブザーの機能もついている。便利なアプリであるため、是非ダウンロードしていただきたい。

特殊詐欺については、大府市では昨年11月末時点では14件発生しており、今年は8件で減少しているが、手口としては市職員や警察官、百貨店を騙って、自宅の固定電話に電話をかけてきて、キャッシュカードや現金を渡してしまう被害が後を絶たない。年代別に見ると、70代から80代の高齢女性の被害が最も多い。簡単にできる対策は、固定電話の電話には応答せず、番号を確認して折り返すという方法があり、大府市では特殊詐欺対策用の電話機の補助制度を行っているため、近隣の住民の方々にも伝えていただき、買替の機会があれば、補助制度を活用して、対策機能が付いている電話機を選んでいただけたらと思っている。

毎朝天気予報で今日の天気を確認し、降水確率に応じて傘を持っていくことが予防であるように、先ほど紹介した「アイチポリス」をダウンロードして、犯罪においても最近発生した犯罪を知り、気を付けようと防犯意識を持っていただき、対策をしていただくことが、1件でも被害が減っていくことに繋がると思う。

年末年始で家族や親族が集まる時には、必ず鍵をしっかりと掛け、高齢者の方がいれば、特殊詐欺対策の話をしていただく等、口コミの力でも防犯意識を高めていってほしい。

以上